

コマンド	説明	レスポンス例
sXXX\n	Simple Beep XXX : SBEEPの値(DEC) 設定した値をレスポンスとして返します。	s138\n
cXXX\n	Custom Beep XXX : CBEEPの値(DEC) 設定した値をレスポンスとして返します。	c3\n
RR:FFF,PPP\n	ユーザー設定音 RR : 音番号 (0~60, DEC) FFF : 音RRの周波数 [Hz] (0~65535, DEC) PPP : 音RRの長さ [ms] (0~65535, DEC) 設定した値をレスポンスとして返します。 設定後、自動的に再起動します。	5:1234,567\n
l\n	情報のリスト表示	Buzzer Module\nVersion: 1.0.0\nI2C address: 21\n
i\n	システム初期化 全てのレジスタの値を工場出荷時状態に初期化し、再起動します。	init\n
a\n	I2Cデバイスアドレス(DEC)	21\n
v\n	ファームウェアバージョン	1.0.0\n
m\n	メロディレジスタ一覧 音番号:周波数,長さ	0:784,300 1:880,300 ... 60:65535,1000

*1. \nはLF(Line Feed)を表しています。